人生

人は変わる

この景色は何年たっても変わらない

うらやましい　むなしい

２つの気持ちが交差する

ああ、私のふるさと

Ｊ.ルーマイネ

昼下がり

喉が渇いた。
ファミレスに入る。
席に着く。
アイスコーヒーを注文する。
ウェイターがアイスコーヒーを持ってくる。

「こちらアイスコーヒーになります。」

まだアイスコーヒーじゃなかった。
ああ、喉が渇いた。

impatient

青空

青色の空と太陽の周りに見える虹

卒業の日見上げた空
色んな思い出が頭を巡る

３年前と同じ空なのに違う風に見えた。

シエルブルー

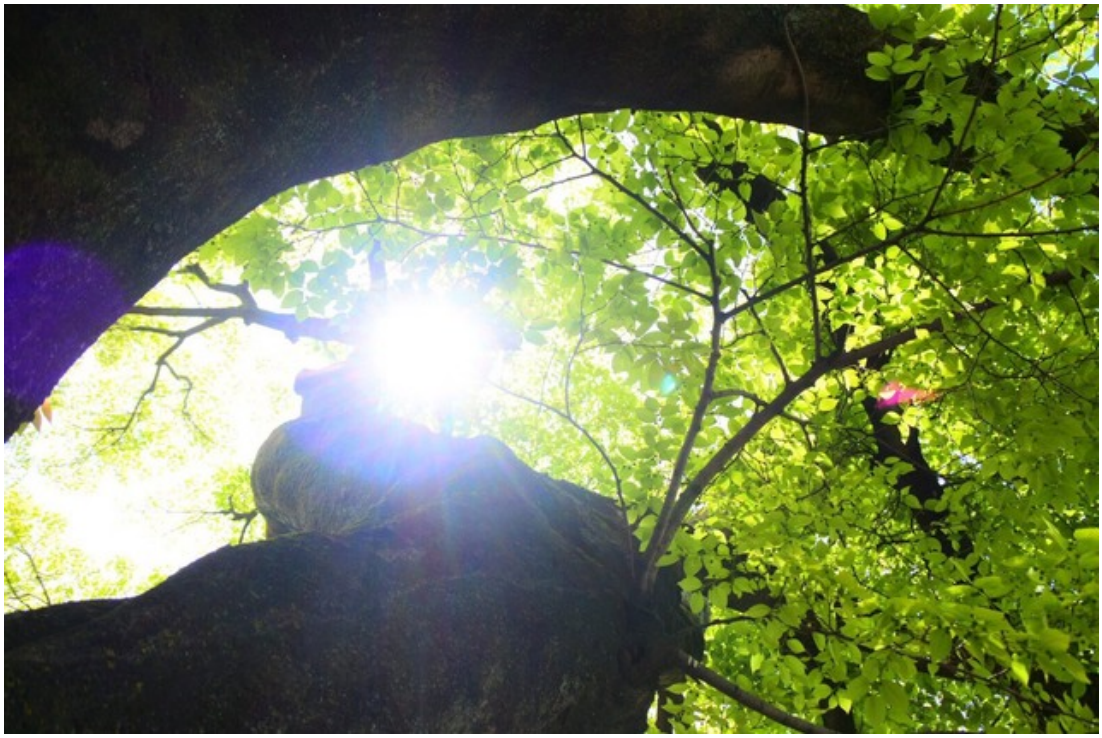
雪

いつもの朝　いつもの道

白くおおわれ見慣れぬ風景

浮き立つ心ふゆうらら

Neige



見上げると

つかめそうでつかめない

この光の先に一体何があるのだろう…

どんな未来がまっていて

どんな景色が見えるのか

それは誰もわからない

ただ光の射す方へ

aile

夜景

大都市の先に照らされ輝く空

一つそびえたつタワーの頂上から

私はどのようにみえているのだろうか

belle

薔薇

1 輪の薔薇を見れば
私は穏やかな気持ちになる。

ベルベットのような花びら 甘い香りは
たくさんの優しさや温もりをくれる。

私もいつか あなたのような花を咲かせたい。

rouge

境界

曖昧なものが多い世の中

『嫌いじゃ無いけど、ちょっと…』
それは嫌いなんでしょ

好きなら好き、嫌いなら嫌い
線引きをして欲しい

曖昧なものに救われる人がいると言うけれど

曖昧なものに苦しめられる人もいるのだ

ciel

そら

海と見紛うような空

地平線と見紛うような雲

ciel

花

自分の花を咲かせる

雨の日も
風の日も

蕾の中で
静かに
咲く努力を重ねる

次に咲く花は
きっと強く美しい

Fleur

未来への鏡

海・山・空・太陽

1日の終わりに
それぞれの自然が作り出す美しさ

それは未来への鏡でもある

cerises

自然の鏡

ありのままの美しさを写す田んぼ鏡

Cerises

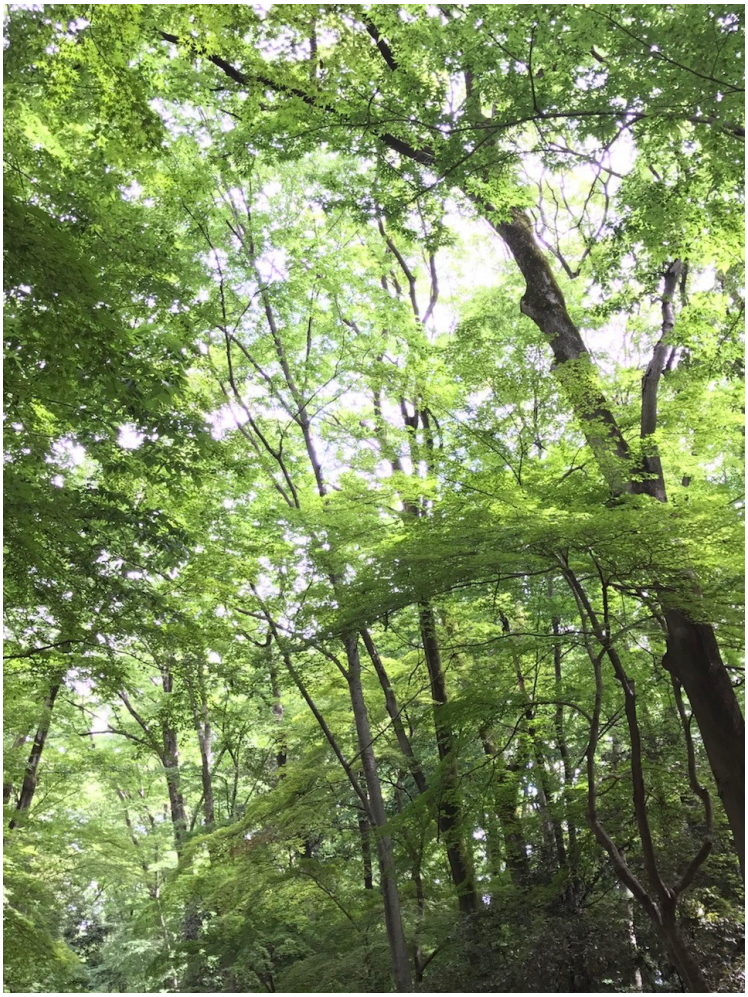
違う景色

もしかするとみんな同じ景色をみているわけではないかもしれない。

繋がっているのか、離れているのか。

もっといろいろな景色が見れるようになりたいと思う。

divers



静寂

今日は母と京都へ遊びに行った。
歩いている途中、上を見上げてみると、そこには木々が広がっていたのだ。
木々からは光が差し込んでいた。

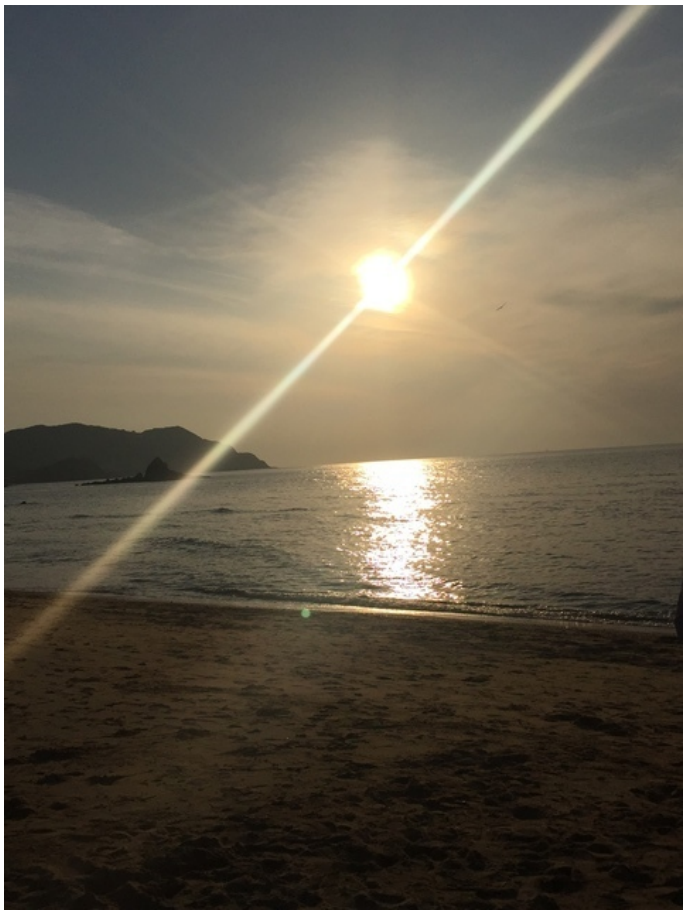
私を照らしてくれる光。
私を新しく変えてくれる木々。
自然って大切な存在なんだな。

Nature

過去の光

過去を振り返ると過去の自分がいる
でも過去の自分の背景には自分を遠くから見守ってくれる光がある
これからも真っ直ぐな道を歩んで行くけど
そんな道も平坦ではないだろう
そんな時見守ってくれる光を感じながら歩んで行こうと思う

イーシン



勇気　Mut

1 人ぽつんと　海辺に立ち
長く不安な面持ちでため息をつき、
とぼとぼと歩く。
そして、またため息をつく。

それの繰り返し

ふと、キラキラとオレンジ色を見上げる。
すると、何をクヨクヨと悩んでいたのかも忘れてしまった。
自分自身の心を震わせるもの
それは沈み行く太陽だった。

Solo Mädchen

街に挑むクワガタ

家の自販機の上にいた虫、

ゴキブリではない、クワガタだったのだ。

上京を試みるとは破天荒な虫もいるんだ。

負けないように頑張らないと！

Blitz

ぎゅっと奥歯を噛み締めて

赤い空が広がり始める。

すると　思い出したように悔しさが湧き上がる

でも大丈夫

今日はもう死んだ

明日の夕焼けはきっと笑顔で迎えよう

Herbst

終点までのいき方

どこまでも続く青い空
どこまでも続くように見える線路
どこまでも続くように感じる私たちの人生

終点のアナウンスが聞こえた

今日の終わりがやってくる
人生の終わりもやってくる

私は自分で敷いたレールの上を終点まで走りたい

Hortensie

木陰

暑い日に木陰で見つけたカエル達

小さな子供、おばあちゃんなど、

道行く人たちを木陰に誘い込んでいた

笑顔溢れる木陰の中で

愉快なカエルとちょっと息抜き

Wölfe

Blume

麗しき六月
多くの花がさきはじめる頃だ
たくさんの花の中でも
ひときわ私をひきつけた
うすピンクのバラ。

なぜかはわからないけどこのバラをみていると
心が不思議といやされた。
そして私の心に
愛が生まれた

Meer

Selbstgespräch

何気ない１日も、たった１つの感動で

特別な１日に変わると思う。

と、言うことは１日に何か１つでも感動すれば

毎日が特別な１日になるのかな。

Meer Monat

今日もお疲れ様！

もうすぐ今日が終わろうとしている。

だがビルは家の明かりは

消えようとしない。

なぜだろう。

この明かりに涙があふれるのは。

Uhr

希望

生きていれば辛いこともあるし、失敗だって何度もする。
難しく考え出すと、全てが嫌になってしまう。

そんなときは子どもの気持ちになって無邪気になればいい。

Kugelschreiber

終着駅は…

理不尽なこの世の中で大きな理想を掲げ今日も走る。

レールの先の先まで。
終着駅には笑顔が待っていると信じて。

Schnellzug

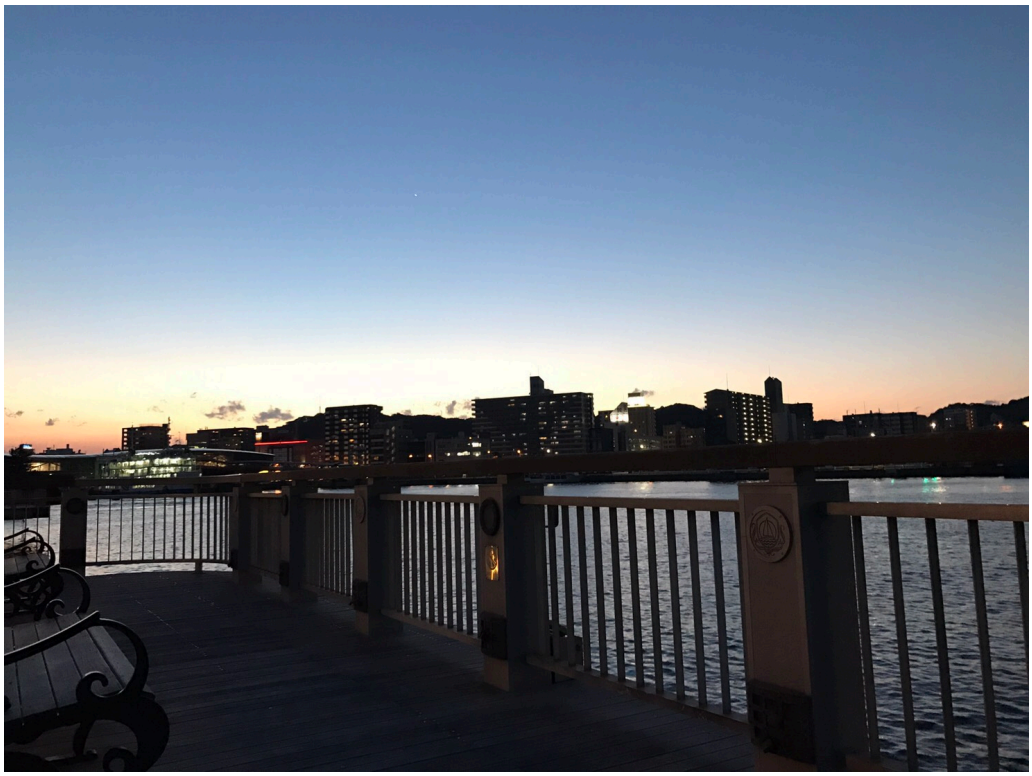
連続

水は一体なぜずっと流れているのだろう

もしかしたらこの水と同じように

人類も続いているのではないのか

オースタン



純愛

純愛。

それは一本道。

ふたりだけの海。

この場所から始まった。

純愛。

そう、それはただの一本道。

Licht